

人の顔を判別 いつ頃から?

知りたい 赤ちゃん学

赤ちゃんの好みは難しい。我が子が高年の男性の顔を見て、笑顔を見せることが多い。好きだと思ってるおもちやはずいぶん飽き、「なぜ?」というものに夢中になることもしばしば。今週は、赤ちゃんの好みと認知の不思議に迫る。(笹本貴子)

好み



目と口の配置で

生後すぐに理解

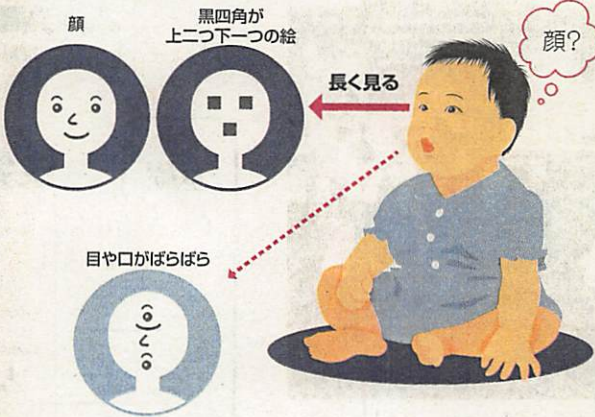
息子が生後7か月頃。「ぎゃはは」という声で振り返ると、テレビに白



縁の眼鏡をかけた男性タレントの顔がアップになっていた。画面が変わると息子の笑いは収まり、男性の顔が映ると、再び大笑い。「もう顔の好みがあるの?」と驚いた。

赤ちゃんの顔認知に詳しい中央大学の山口真美教授

顔認識では「トップヘビー」が鍵



早く覚えてもらうには

横顔より正面から向き合って

赤ちゃんに自分の顔を、いち早く覚えてもらうコツはあるのだろうか? 中央大学の山口教授は、実験の結果、赤ちゃんが接する時に自分の顔の向きを意識することを勧めている。実験は、赤ちゃん14人に生後3か月から半年間にわたる1、月1回以上のペースで行



横顔は「顔」と認識できず、正面を向く実験の様子(東京理科大学の市川寛子准教授提供)

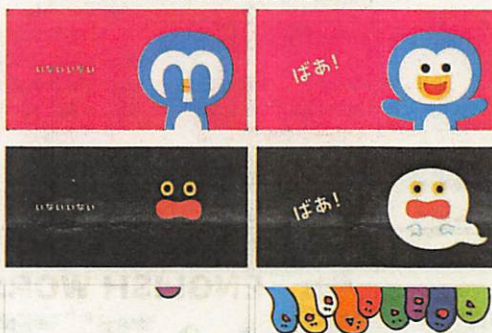
顔以外の好みはどうだろう。「いないいないばあ! えほん」(主婦の友社)の監修を兼ねて研究する東京大学の新屋裕太特任助教(33)(発達科学)は、動物や人、キャラクターが登場する「いないいないばあ!」の2種類の絵柄を計48組用意し、0〜2歳の子計62人に「いないいないばあ!」を7秒ずつ見せ、目線や絵柄を見つめる時間を調べた。全体にコントラストが強い色の絵柄に関心を示した

ほか、0歳頃までは人や動物など生き物の絵を好み、1〜2歳頃にはお花畑など空想上のキャラを好み傾向も分かった。月齢が上がるにつれ、複雑な絵柄を長く見るようになるという結果も得られた。一方、「ばあ!」への展開が極端に予測しやすかったり、逆にしにくかったりする絵は、あまり好かれなかった。新屋さんは「予想したものに出来た安心感と、その表情や出方に少し驚きがあるというバランス

月齢で好みに差異

「いないいないばあ!」で研究

「いないいないばあ!」の絵柄と赤ちゃんの好み



0歳児に人気
1〜2歳児に人気
人気がない絵柄

※作・絵 かしむらあきお (東京大の新屋特任助教提供)

実家の父はよく「いないいないばあ!」で息子を大喜びさせてくれる。父は「ばあ!」の代わりに「ばあ!」と言いつつ、鼻の穴を膨らませて目を見開く。安心感と驚きのバランスがとれていて、息子の心をわしつかみにするのかもしれない。

(56)に聞くと、「ポイントでは白縁眼鏡が目立つ巨匠だ」と、教えてくれた。赤ちゃんは相手の顔を見る時、白と黒のコントラストが強い目元に注目する傾向がある。視力が未発達でも見やすいためと考えられている。眼鏡を面白がる赤ちゃんも多く、生後まもないと眼鏡を外したり変えたりするだけで親が分からなくなる子もいるそうだ。そもそも赤ちゃんはいつ

から人の顔が分かるのか。山口教授によれば、生後1か月の新生児でも、目の前の画像が「顔か顔以外か」を見分けられる。判断の手がかりは、目や口の配置にあるらしい。赤ちゃんは目や口の絵をばらばらに並べた画像より、黒い四角二つを上、二つを下に置く「トップヘビー」の配置の画像の方を、長く見つめる。より顔らしく見えて好むようだ。見つめる時間で赤ちゃんの好みを探る実験では、「顔」画像のほか、「柄のあるもの」「しま模様」を好むことがわかっていく。

生後半年まではサル顔も区別 顔認知の能力で、驚くべき報告もある。生後半年の赤ちゃんにサルの顔写真と別のサルの顔写真を並べて見せると、別のサルを長く見ることがわかった。赤ちゃんは真新しいものを長く見つめる傾向もあり、サルの顔の違いを見分けていることが示唆された。ところが生後9か月になるとこうした違いがなくなり、サルを見分ける能力が失われるらしい。論文が2



生後半年の赤ちゃんが見分けた可能性がある2匹のサルの顔(米科学誌サイエンス提供)

002年、米科学誌「サイエンス」に掲載された。聴覚でも似た現象がみられる。例えば赤ちゃんはある時期まで英語のRとLの発音を聞き分けるが、英語圏以外だとやがてできなくなる、という研究もある。では、幼い頃から英語を聞かせ続ければバイリンガルに近づけるだろうか? 山口教授は、「母国語を聞き取る力を磨く分、不要な能力を捨てるのが発達過程と考えられる。顔の認知も、見る機会が多い顔を覚えるため他の能力は捨てるのでは」と話し、「早過ぎる英才教育は赤ちゃんを混乱させるかもしれない」と指摘する。